

【日本政府 UNHCR に対する 1 億 3122 万米ドルの支援を決定】

2015 年 3 月 27 日

日本政府は UNHCR に対して 1 億 3122 万米ドルを補正予算からの支援として決定した。この資金は、世界 26 ヶ国における難民、国内避難民、帰還民、無国籍者支援に充てられる。内訳は、アフリカ（7005 万米ドル）、中東（4994 万米ドル）、アフガニスタンと周辺国（893 万米ドル）、ミャンマーの国内避難民と無国籍者（230 万米ドル）である。今回の支援は UNHCR が 2015 年に人道支援を展開するのに必要な 68 億米ドルの一部として活用される。

マイケル・リンデンバウアー UNHCR 駐日代表は、日本の多大な貢献に深い感謝の意を表明し「複数の危機が起こり、UNHCR はかつてないほどの資金不足に直面している。そのような状況において、日本は増加し続ける難民、避難民、そして無国籍者への保護と支援において大変重要な役割を担っている」と述べた。

アフリカにいる UNHCR の支援対象者数は 1300 万人。世界中にいる UNHCR の支援対象者の 3 分の 1 がアフリカに集中している。中央アフリカ共和国、南スーダン、ナイジェリア、コンゴ民主共和国の東部では戦闘により、多くの人々が家を追われている。日本の貢献によってアフリカで移動を余儀なくされている多くの人々に保護と支援が届けられ、また、難民や避難民を受け入れているコミュニティは、恒久的解決策の促進という観点からもサポートを受けられるようになる。

中東に目を向けると、シリア紛争は 5 年目に突入し、800 万人がシリア国内で避難生活を送っている。シリア周辺国に逃れたシリア難民の数は 400 万人にのぼり、UNHCR が支援している難民の中で最多である。更にイラクでの衝突により、225 万人以上がイラク国内で避難民となっている。日本の貢献はこれらの人々の苦しみを和らげ、迅速に支援を届けることを可能にする。

アフガニスタンは人道問題が最も長引いている国である。260 万人のアフガン難民の多くはパキスタンとイランで避難生活を送っている。日本からの支援はアフガニスタン地域の長期的な解決策を視野に入れた支援計画に活かされる。今回の資金供与はアフガニスタンにいるパキスタン難民、またパキスタンの国内避難民の支援にも充てられる。

国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所 広報室

107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター

Tel 03-3499-2310 Fax 03-3499-2272 www.unhcr.or.jp

UNHCR の支援活動は皆様のご寄付に支えられています。ご寄付は UNHCR の公式支援窓口である国連 UNHCR 協会を通じてお願いします。国連 UNHCR 協会
フリーダイヤル: 0120-540-732 (平日 10 時～18 時) www.japanforunhcr.org



ミャンマーではカチン州とシャン州北部で 10 万人が、またラカイン州では 14 万人が避難を余儀なくされている。また、80 万人以上が国籍を持っていないと見られる。日本の貢献はこういった避難民と無国籍者の支援にも充てられる。

UNHCR が世界中で行っている活動は政府からの任意抛却や個人、企業からの寄付に支えられている。2014 年、日本は総額 1 億 8161 万 2466 米ドルを抛却しており、UNHCR にとって第 4 位のドナー国である。

アフリカ地域への支援	7005 万米ドル
カメルーン、中央アフリカ共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エチオピア、ガーナ、ギニア、ケニア、リベリア、モーリタニア、ニジェール、ソマリア、南スーダン、スーダン、ウガンダ、ザンビア	
中東地域への支援	4994 万米ドル
イラク、ヨルダン、レバノン、シリア、トルコ、イエメン	
アジア地域への支援	1123 万米ドル
アフガニスタン、イラン、パキスタン、ミャンマー	
	総額 1 億 3122 万米ドル

国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所 広報室
 107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター
 Tel 03-3499-2310 Fax 03-3499-2272 www.unhcr.or.jp

UNHCR の支援活動は皆様のご寄付に支えられています。ご寄付は UNHCR の公式支援窓口である国連 UNHCR 協会を通じてお願いします。国連 UNHCR 協会フリーダイヤル: 0120-540-732 (平日 10 時 ~ 18 時) www.japanforunhcr.org

